

2012年度 日本地理教育学会第62回大会 プログラム

期 日：2012 年7月21日(土)～22日 (日)

※一般来聴歓迎

会 場：麗澤大学 校舎「かえで」

〒277-0065 千葉県柏市光ケ丘 2 丁目 1-1

〈会場へのアクセス〉

JR常磐線 南柏駅 東口から東武バス4分「麗澤大学前」下車

大会実行委員長：齋藤之誉（麗澤大学）

問い合わせ先：大会実行委員長 齋藤之誉（麗澤大学）

ysaito@reitaku-u.ac.jp Tel: 04-7173-3101

大会参加費：大 会 1,500円（予稿集代を含む）

懇親会 5,000円（当日受付）

※日本地理教育学会観光教育研究グループ第5回会合

日 時 7月22日（日）15：40 から1時間程度

場 所 校舎「かえで」5階1504教室

内 容 平林勇太（岡崎市立上地小）・志村 喬（上越教育大）：上越線開通による
観光地「越後湯沢」表象内容と観光地理教材としての可能性

*本研究グループ会合はどなたでも参加できます。

*問合せ先：寺本 潔（玉川大学）ktera@edu.tamagawa.ac.jp

● 7月21日（土） シンポジウム, 評議員会, 総会, 懇親会

- 11:30～ 受付開始（校舎「かえで」 1 階 西側入口 ロビー）
- 12:00～12:50 日本地理教育学会評議員会（校舎「かえで」 5 階 1504教室）
- 13:00～13:40 会長講演（校舎「かえで」 5 階 1503教室）
- 14:00～17:00 シンポジウム（校舎「かえで」 5 階 1503教室）
- 17:10～17:50 日本地理教育学会・総会（校舎「かえで」 5 階 1503教室）
- 18:00～20:00 懇親会（「事業館」 3 階）

シンポジウム「大学の地理学教育を考える—教員養成の実態を踏まえて—」

趣 旨：大学における地理学教育について，3つの大学を例に具体的なカリキュラムから考える。特に大学での地理学が，教員養成においてどのように寄与しているのかを検討する。

- 14:00～14:10 趣旨説明：井田仁康（筑波大）
- 14:10～15:10 シンポジウム講演：パネリスト 3 人による20分ずつの講演
- 15:10～15:25 休憩
- 15:25～16:10 パネルディスカッション
- 16:10～17:00 会場全体による質疑応答
- パネリスト：野間晴雄（関西大）
- 鈴木厚志（立正大）
- 山下清海（筑波大）

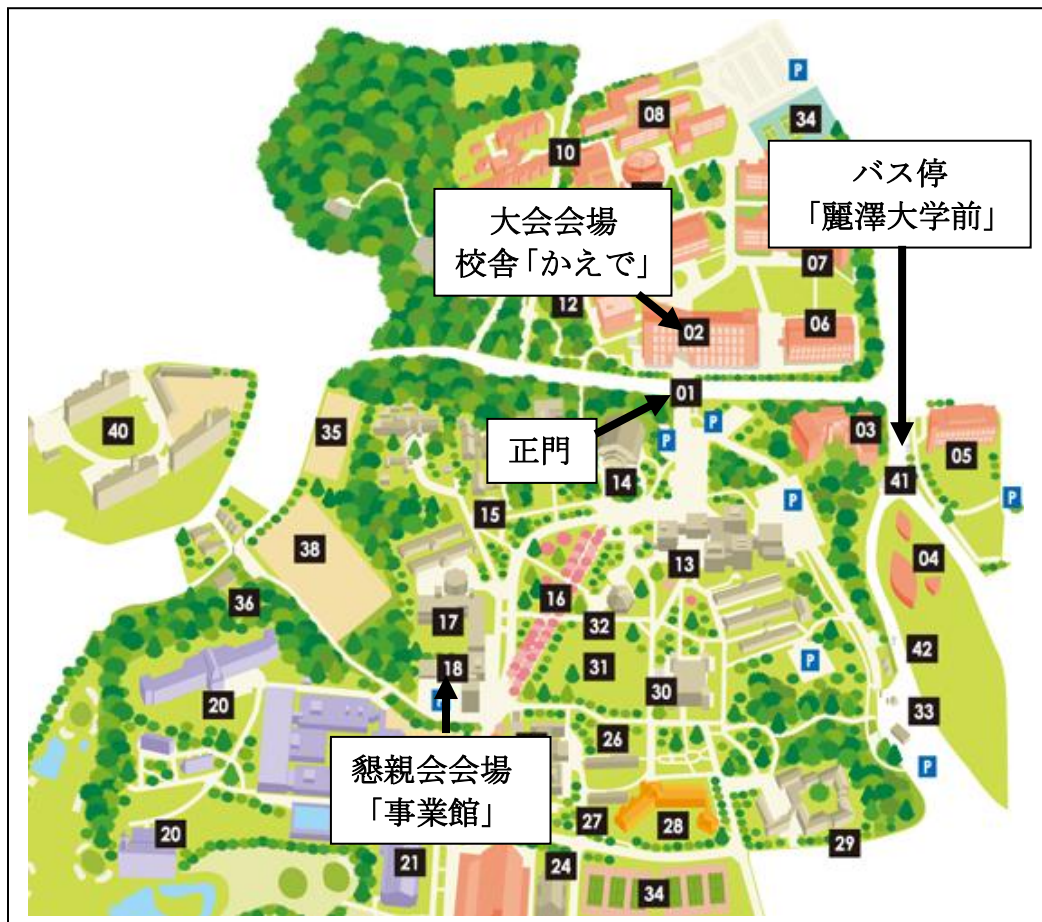
● 7月22日（日） 一般発表

- 9：00～ 受付開始（校舎「かえで」 1 階西側入口ロビー）
- 9：40～12：00 一般発表 第1会場（校舎「かえで」 5 階 1501教室）
- 9：40～12：00 一般発表 第2会場（校舎「かえで」 5 階 1502教室）
- 《 昼休み 》
- 13：00～15：40 一般発表 第1会場（校舎「かえで」 5 階 1501教室）
- 13：00～15：40 一般発表 第2会場（校舎「かえで」 5 階 1502教室）

大会会場のご案内

麗澤大学キャンパス

<http://www.reitaku-u.ac.jp/daigaku/campus/campus02.html>



一般発表プログラム

第1会場 [1501教室] (9:40-15:40)

- 9:40 101 田部俊充（日本女子大） 川崎市多摩区の小学校におけるデジタル地域地図の普及活動
- 10:00 102 石毛一郎（千葉県立佐原高） 触地図ガイドブックの作成状況—全国調査の結果より—
- 10:20 103 國原幸一朗（筑波大・院） 高等学校「地理」におけるGISを利用した「地域の結び付き」の学習
- 10:40 104 佐々木智章（早稲田大学高等学院）・内坂 翼（東京学芸大・卒）・中村康子（東京学芸大）・山崎謙介（東京学芸大） 高等学校地理におけるGISを用いた居住地選択の授業実践
- 11:00 105 三橋浩志（文部科学省） 地理教育における「防災学習」の体系に関する研究
- 11:20 106 中村光則（広島県立三原高） 高等学校地理ESD単元の開発と実践—フィールドワークによる読図と防災都市づくり—
- 11:40 107 泉 貴久（専修大松戸高）・梅村松秀（ERIC国際理解教育センター）・福島義和（専修大）・池下 誠（練馬区立開進第一中） ESD地理教育実践へ向けての新たな問題提起—持続可能な地域社会実現へ向けたモデルの提案—

《 昼休み 》

- 13:00 108 寺本 潔（玉川大） 生活科教育における空間認識形成の再構築
- 13:20 109 吉田和義（創価大） 小学校第3学年における知覚環境の発達傾向
- 13:40 110 小林正夫（東洋大） 地域連携プロジェクトによる学生の地域認識の変化
- 14:00 111 菊地達夫（北翔大学短期大） 身近な地域調査の実践とその効果—小学校社会科指導法の授業実践として—
- 14:20 112 吉田 剛（宮城教育大） 中学校学習指導要領地理的分野「内容」における考察の観点などの記述の分析
- 14:40 113 山本晴久（千葉大院・千葉県立柏中央高） 社会的合意形成能力を育成する地域問題学習—「放射能汚染と地域」授業実践分析を通して—
- 15:00 114 多田統一（都立浅草高・非） 定時制の地理教育を回顧する—都定通研の活動を通して—
- 15:20 115 椿 真智子（東京学芸大） 大学教職課程における非社会系学生対象の小学校社会に関する教育課題

第2会場 [1502教室] (9:40-15:40)

- 9:40 201 志村 喬(上越教育大) 北アイルランドの地理教育カリキュラム—イギリス諸島における比較考察—
- 10:00 202 池 俊介(早稲田大) ポルトガルにおける中学校地理教育の特色と課題
- 10:20 203 山本隆太(早稲田大) ドイツの教員養成と地理学教育
- 10:40 204 金 玆辰(北海道教育大) 香港の中等地理カリキュラムにおける防災教育—自然災害を中心に—
- 11:00 205 松浦直裕(石川県立金沢伏見高) オーストラリア理解をどのように進めるか—語学研修を活用して—
- 11:20 206 吉水裕也(兵庫教育大) イングランドGCSE地理における評価枠組み—Edexcel社のGCSE用ワークブックの分析を通して—
- 11:40 207 藤田 晋(文理開成高) 地理教育研究における自然地理の扱いに関する考察

《 昼休み 》

- 13:00 208 澤田康徳(東京学芸大) 夏期の関東地方における降水特性の時間的特徴
- 13:20 209 本木弘悌(早稲田大学高等学院) イタリア産業集積地域の構造—リヴェンツァ家具産地の実態報告—
- 13:40 210 加賀美雅弘(東京学芸大) ドイツ・フォークトランド地方における野外博物館と地域再生
- 14:00 211 島田雄仁(東京学芸大・院) 富山県井波彫刻業産地の存続要因
- 14:20 212 北崎幸之助(獨協大・非 攻玉社中学・高) ひたち野農業協同組合地域における飼料用米生産と持続可能性
- 14:40 213 松下直樹(中央大学附属中・高) 横浜市鶴見区における移住者集団の適応戦略—沖縄出身の集団に着目して—
- 15:00 214 堀本雅章(法政大学沖縄文化研究所) 沖縄県伊平屋村野甫島における架橋および空路に対する住民意識
- 15:20 215 清沢創一(東京学芸大・院) 長野県松本市における市町村合併の進展過程と地域変化